

**製品名: CAMK2G マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81324**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	62.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CAMK2G
別名	CAMK; CAMKG; CAMK-II
遺伝子 ID	818.0
SwissProt ID	Q13555
免疫原	大腸菌で発現したヒト CAMK2G (AA: 322-481) の精製された組み換え断片。

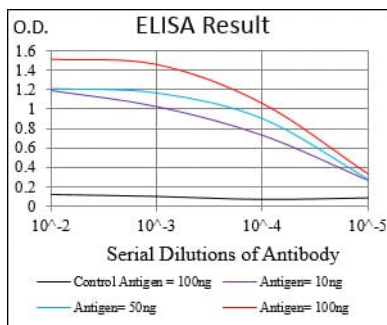
**背景**

この遺伝子産物は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーおよび Ca(2+)/カルモジュリン依存性プロテインキナーゼサブファミリーに属する酵素の4つのサブユニットのうちの1つです。カルシウムシグナル伝達は、グルタミン酸作動性シナプスの可塑

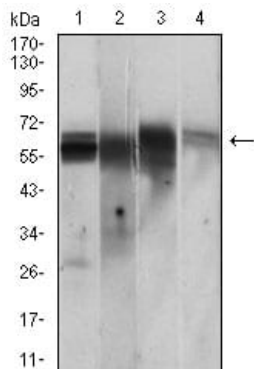
性のいくつかの側面において重要です。哺乳類細胞において、この酵素は $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ の4つの異なる鎖で構成されています。この遺伝子産物は $\gamma$ 鎖です。異なるアイソフォームをコードする多くの選択的スプライシング転写産物が報告されていますが、全てのバリエーションの全長は未だ解明されていません。

## 研究分野

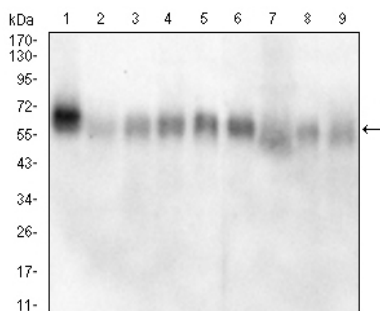
## 画像データ



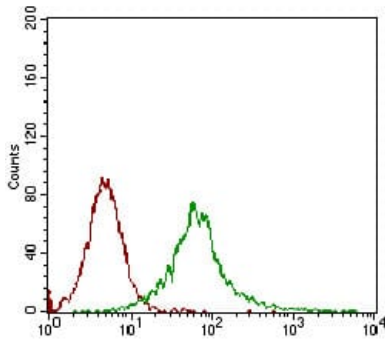
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



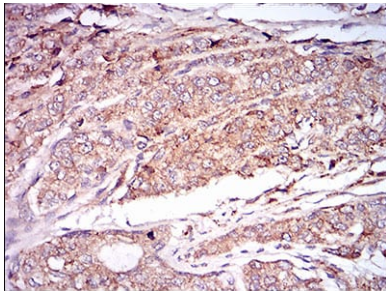
PC-12 (1)、Jurkat (2)、T47D (3)、HepG2 (4) 細胞溶解物に対する CAMK2G マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



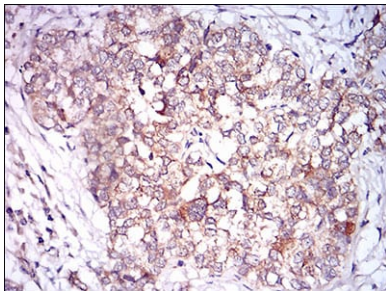
PC-12(1)Raw264.7(2)NIH/3T3(3)NRK(4)C2C12(5)C6(6)F9(7)COS-7(8)CHO3D10(9) 細胞溶解物に対する CAMK2G マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



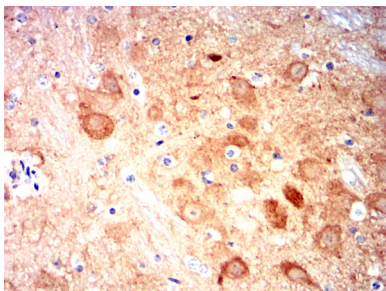
CAMK2G マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



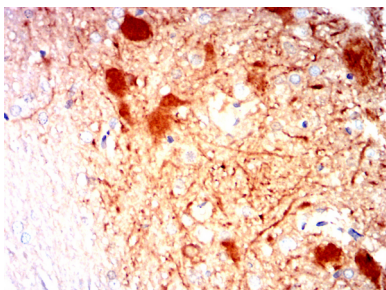
CAMK2G マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。



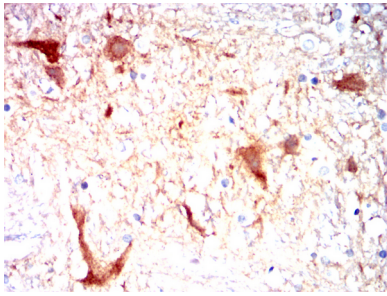
CAMK2G マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



CAMK2G マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス小脳の免疫組織化学分析。



CAMK2G マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット小脳の免疫組織化学分析。



CAMK2G マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ脊髄の免疫組織化学分析。